令和４年度事業報告

Ⅰ　事業報告の概要

近年は少子高齢化が進む中、地域では孤独死や社会的孤立、引きこもり、８０５０問題、ＤＶ、高齢者や障害者、児童への虐待、貧困など、福祉の課題は複雑化して支援には高い専門性が求められるケースが増加している。

こうした状況のもと、本会では、長引くコロナ禍で一部の事業の中止や縮小を余儀なくされたが、「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」を基本理念とした「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に基づき、行政をはじめ、地域住民や関係機関との連携を緊密に図りながら、地域における福祉課題解決のために様々な事業を実施した。

また、中期経営計画となる「第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門により各種事業に取り組んだ。

令和４年度は、次の５つの重点項目を基盤に据え諸事業を以下のとおり展開した。

Ⅱ　重点項目

１　第三次防府市地域福祉活動計画の推進

「ひとづくり」・「環境づくり」・「しくみづくり」の着実な推進

第三次地域福祉活動計画については、地域福祉推進のための取り組みとして、５年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、外部委員で構成する防府市地域福祉推進協議会で実施目標の達成度を評価することで進捗状況の確認等を行っている。

２　第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

法人運営部門・地域福祉部門・生活支援部門の着実な推進

第二次発展・強化計画については、地域福祉を推進する中核的な団体として、本会の使命や、経営理念、基本方針を明確にした上で、さらなる組織体制の強化や継続的に発展するための取組として、５年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、目標達成については、自己評価に基づき、理事会・評議員会で報告した。

３　小地域福祉活動事業の展開強化

地区社会福祉協議会の支援、小地域福祉活動の強化

地区社会福祉協議会の支援については、地区社会福祉協議会会長会議を４回開催して、理事会の報告や情報交換、敬老会事業の協議等を行った。

また、小地域福祉活動については、防府市で山口県下のコミニュティソーシャルワークの実践研修会を引き受け、地域課題の解決に向けた取り組みを体験できたことや、１２月の一斉改選により新たに民生委員・児童委員となった方を対象に研修会を行い、福祉活動の強化を図った。

４　地域における総合相談・生活支援体制の強化、確立

防府市自立相談支援センターの機能充実、防府市成年後見センターの運営

自立相談支援センターについては、主にコロナ禍による収入減少により生活に困窮している方々の相談を受け、該当者の住宅確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付申請を受け付けた。また、コロナ禍にかかわらず生活に困窮している方々へも、様々な支援策を模索しながら、就労支援や食糧支援を行った。

成年後見制度利用促進事業については、防府市成年後見センター（中核機関）の設置について、関係機関・団体に周知を行うとともに、個人向け「成年後見利用促進セミナー」の開催など、広報・啓発に努めた結果、相談件数が増加した。

５　経営管理（ガバナンス）の強化と経営の透明性の確保

組織体制の整備、人事管理の適正化

組織のガバナンス強化を図るため、理事会及び評議員会を開催して事業計画、事業報告及び諸規程等の改正を審議するとともに重要事項を報告し、評議員選任・解任委員会においては、後任の評議員を選任した。

人事管理の適正化については、職位や職務に応じた知識、技術等の習得など資質向上を図るため、職員育成計画を策定するとともに、職員研修の充実を図った。

Ⅲ　具体的事業

【法人運営部門】

１　法人運営事業　　82,727,277 円

防府市社会福祉協議会を円滑に運営していくために、次の事業を実施した。

（１）第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

事業報告	評　　価
第二次計画での法人経営部門については、組織体制の整備、財務状況の適正化及び人事管理の適正化に取り組んだ。地域福祉部門については、地区社会福祉協議会の強化、地域福祉力の強化及び地域ニーズに即した事業の開発に取り組んだ。生活支援部門については、生活支援活動の強化及び総合的な権利擁護体制の構築に取り組んだ。	今後も第二次市社協発展・強化計画を単年度事業計画に具体的に反映させ、着実な実施と進行管理に努めていきたい。

（２）法人運営事業

① 組織体制の整備

ア 会員の増強

事業報告

会員別		対象数	会費総額
一般会員		全世帯	１２，６４８，９００円 【１２，６９８，１００円】
団体会員	地区社協	１５団体 【１５団体】	４５，０００円 【４５，０００円】
	福祉団体	２７団体 【２５団体】	５４，０００円 【５０，０００円】
	施設団体	２５団体 【２６団体】	７５，０００円 【７８，０００円】
	連合団体	６団体 【６団体】	３０，０００円 【３０，０００円】
特別会員		５，３５９口 【５，３８６口】	２，６７９，５００円 【２，６９３，０００円】
賛助会員		１６口 【１７口】	８０，０００円 【８５，０００円】
合　　計			１５，６１２，４００円 【１５，６７９，１００円】

〔年額会費〕

一般会員　　１世帯　　３００円

評　　価

会費は合計では対前年度比で６６，７００円減少した。特別会費が前年度比で１３，５００円、賛助会費が５，０００円減少した。会費の使途を明確にし、特別会員及び賛助会員の協力について支援を求めたい。

団体会員 　地区社協　１団体　３，０００円 　福祉団体　１団体　２，０００円 　施設団体　１団体　３，０００円 　連合団体　１団体　５，０００円 特別会員　　１口　　５００円 賛助会員　　１口　５，０００円	

イ　評議員会及び役員会等の開催

事業報告	評　　価
㋐ 三役会の開催 　令和４年　４月　１日 　令和４年　４月２５日 　令和４年　５月２７日 　令和４年　６月３０日 　令和４年　７月２７日 　令和４年　８月２６日 　令和４年　９月２９日 　令和４年１０月２４日 　令和４年１１月２８日 　令和５年　１月　４日 　令和５年　１月３０日 　令和５年　２月２０日 　令和５年　２月２７日	三役会を開催し、事業や予算の執行等について協議した。 今後も定期的開催を継続し、情報共有に努めたい。
㋑ 理事会の開催 　令和４年　６月　６日 　　報告第１号　会長及び常務理事の職務執行状況について 　　報告第２号　令和４年度資金収支流用予算（第１回）について 　　議案第１号　令和３年度事業報告について 　　議案第２号　令和３年度資金収支決算について 　　監査報告 　　議案第３号　令和４年度資金収支補正予算（第１回）について 　　議案第４号　評議員候補者の提案について 　　議案第５号　評議員選任・解任委員の選任について 　　議案第６号　評議員選任・解任委員会の招集について 　　議案第７号　定時評議員会の招集について	理事会は３回開催し、全議案の承認を得た。 会長及び常務理事の職務執行状況について３回報告した。

議案第８号　「役員等損害賠償責任保険」契約の締結について 令和４年１０月３１日 報告第３号　会長及び常務理事の職務執行状況について 報告第４号　令和４年度事業実施状況及び予算執行状況について 報告第５号　令和４年度資金収支流用予算（第２回）について 議案第９号　令和４年度資金収支補正予算（第２回）について 議案第 10 号　職員の育児・介護休業等に関する規則中改正について 議案第 11 号　評議員会の招集について 令和５年３月９日 報告第６号　会長及び常務理事の職務執行状況について 報告第７号　令和４年度資金収支流用予算（第３回）について 議案第 12 号　令和４年度資金収支補正予算（第３回）について 議案第 13 号　令和５年度事業計画について 議案第 14 号　令和５年度資金収支予算について 議案第 15 号　事務局組織規程中改正について 議案第 16 号　生活支援員就業規則中改正について 議案第 17 号　職員給与規程中改正について 議案第 18 号　嘱託職員等給与規程中改正について 議案第 19 号　定年退職者の継続雇用に関する規程中改正について 議案第 20 号　役職員の健康情報等の取扱規程中改正について 議案第 21 号　評議員会の招集について	
㋒ 評議員会の開催 令和４年　６月２３日（定時評議員会） 報告第１号　評議員選任・解任委員会について 報告第２号　令和４年度資金収支流用予算（第１回）について 議案第１号　令和３年度事業報告について 議案第２号　令和３年度資金収支決算について 監査報告 議案第３号　令和４年度資金収支補正予算（第１回）につい	６月２３日の定時評議員会を含め３回開催し、全議案の承認を得た。 また、定時評議員会において、令和３年度決算にかかる社会福祉充実残額について報告した。

て 令和４年１１月２４日 報告第３号　令和４年度事業実施状況及び予算執行状況について 報告第４号　令和４年度資金収支流用予算（第２回）について 議案第４号　令和４年度資金収支補正予算（第２回）について 令和５年　３月１６日 報告第５号　令和４年度資金収支流用予算（第３回）について 議案第５号　令和４年度資金収支補正予算（第３回）について 議案第６号　令和５年度事業計画について 議案第７号　令和５年度資金収支予算について ㋓ 監査会の開催 令和４年　５月１７日・１８日 ・令和３年度業務執行状況及び財産状況の監査 ㋔評議員選任・解任委員会の開催 令和４年　６月１４日 ・評議員の選任　　２人	監査会は令和３年度の業務及び決算内容について監査を実施した。

ウ 役員等の研修

事業報告	評　価
令和４年　７月　７日　市町社協事務局長会議 山口市　参加人員　１名 令和４年　８月　１日　市町社協役員研修会 Web　参加人員　３名 令和５年　２月２１日　市町社協会長・常務理事・事務局長会議 Web　参加人員　２名	

エ 諸規程等の整備

事業報告	評　価
㋐規程等の改正	諸規程等を必要に応じて

・職員の育児・介護休業等に関する規則 ・事務局組織規程 ・生活支援員就業規則 ・職員給与規程 ・嘱託職員等給与規程 ・定年退職者の継続雇用に関する規程 ・役職員の健康情報等の取扱規程	整備した。

オ 組織運営の強化

事業報告	評　　価
社会福祉協議会は高い公益性が求められる社会福祉法人であることから、組織のガバナンス強化を図るため諸規程等の改正を行った。 また、令和３年度末に正規職員が退職したことに伴い、新たに職員を採用して事務局体制の整備に努めた。	今後も組織のガバナンス強化を図り、事務局体制の整備や適正な人員配置等に努めたい。

カ 広報啓発活動

事業報告	評　　価
㋐ 広報紙「社協だより防府」の発行配布 ・発行回数　年６回で偶数月の１５日 ・発行部数　各回４９，５００部印刷で全戸配布 ㋑ ホームページの運用 ホームページをリニューアルし、事業内容及び活動報告等社協情報を提供した。サイトから問合せ受付が可能になり、市民の意見や要望が多数寄せられた。 ㋒ マスコットキャラクターの活用 市社協の知名度の向上及び市民の社会福祉への意識関心の喚起のため、マスコットキャラクター「ホーフゥ」を社協だよりやホームページに掲載し、広報啓発活動を行った。	市民に対する社協の認知度を向上させるため、福祉情報を定期的に提供した。 ホームページ・広報誌については今後更に情報内容を充実させるとともに、キャラクターを活用して市社協をＰＲしていきたい。

キ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策等の推進

事業報告	評　　価
職場内にアクリルパーテーションを設置し、マスク着用、検温、アルコール消毒液の使用など、感染防止対策を徹底した。	今後も職場における安全性の確保に努めたい。

ク　グループウェアシステムの導入

事業報告	評　　価
グループウェアシステムのワークフロー機能を活用し、迅速かつ正確な情報共有及びペーパーレス化に取り組んだ。スケジュール機能、設備予約機能により、関係団体や職場内の設備利用調整がスムーズにできるようになった。	回覧機能の活用、ワークフローの充実を図り、今後職場全体で更にペーパーレスの意識向上が必要である。

② 財務状況の適正化

ア 会計及び財務管理等の適正な実施

事業報告	評　　価
公共性の高い社会福祉法人として、透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、経理規程に則り会計処理や金銭管理について、内部牽制を機能させることで適正に実施した。	今後も新会計基準に基づいた会計及び財務管理等の適切な管理体制に努めたい。

イ 新規事業等の活用

事業報告	評　　価
新規事業等については、山口県社会福祉協議会補助事業等の情報収集に努めたが、既存事業等に活用できるものはなかった。	今後も県社協補助事業等を情報収集し活用できる事業については積極的に取り組むとともに事業費も確保したい。

ウ 効果的な事業の実施

事業報告	評　　価
事業を実施する上において、事業の充実や発展を図ることを目指して事業に取り組み、次年度に向けて効果的な事業展開ができるよう事業評価を意識して事業を実施した。	引き続き事業実施状況を把握し、効果的な事業の実施に努めたい。

③ 人事管理の適正化

ア 労務管理の適正化

事業報告	評　　価
安心して働ける職場環境づくりのために、労務関連の法律を順守で	今後も職員の働きやすい

きるよう調整した。 　また、人事評価制度と自己申告制度については令和５年度の導入へ向けた協議を重ねた。	環境に配慮していくため、労務管理の適正化に努めたい。

イ 職員の育成

事業報告	評　　価
令和４年　７月４日・５日 　福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース） 山口市　参加人員　２名 令和４年　８月　１日～令和５年　１月３１日 　令和４年度社会福祉法人会計事務講座 参加人員　１名 令和４年１１月２４日 　令和４年度市町社協職員経理研修会 Web　参加人員　２名	法人運営事業に関する研修等を計画に基づき実施した。

ウ　職員の派遣

事業報告	評　　価
令和４年　７月　５日 　自分のまちを良くする会議 2022　第１１回赤い羽根全国ミーティング 東京都　参加人員　１名 令和４年１２月　２日 　周南市社会福祉協議会新任職員テーマ別研修会 周南市　参加人員　２名	登壇者や講師として、研修会等に参加することにより、職員のキャリアアップにつながった。

④ 表彰等に関する事業

事業報告	評　　価
永年にわたり社会福祉の発展に貢献された方及び団体を推薦し、表彰を行った。 ア 第４０回防府市総合社会福祉大会 令和４年　９月　３日　三友サルビアホール（防府市公会堂） 防府市社会福祉協議会会長表彰 ・社会福祉事業一般功労者　２６名・２団体	今後も多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表したい。

・社会福祉事業協助団体　２団体 イ 第７２回山口県総合社会福祉大会 令和４年１１月１０日　山口市 山口県知事表彰 社会福祉事業功労者 ・共同募金運動奉仕者　１名 ・ボランティア　１名 ・学校　１校 山口県社会福祉協議会長表彰 ・社会福祉事業功労者　４名 山口県共同募金会長表彰 ・共同募金運動奉仕者　４名 山口県民生委員児童委員協議会会長表彰 ・社会福祉事業功労者　３６名 ウ 令和４年度全国社会福祉大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和４年度全国民生委員児童委員連合会長表彰 ・永年勤続民生委員児童委員表彰 ・民生委員・児童委員功労　２名 ・民生委員・児童委員功労者表彰　４名	

（３）社会福祉援助技術現場実習の受入

事業報告	評　価
社会福祉士受験資格の取得を目指す学生の実習を受け入れた。 山口県立大学 令和４年　８月１９日～　９月１３日（１６日間） 受入人員　３名	社会福祉事業者としての責務である後進の育成に努めた。

（４）福祉センター運営事業

防府市社会福祉協議会事務局のある防府福祉センターを福祉活動の拠点として、会場及び福祉用具等の貸し出しを行い、利用者の便宜を図った。

① 福祉センターの利用促進

事業報告	評　価
ア 福祉センター貸館による福祉団体・ボランティア活動の場の提供 防府福祉センター利用状況（年間）	福祉団体・ボランティア団体等への利用促進を図っ

１，１５８件【　１，０２６件】 ９，０５０名【　８，７８６名】 〔内訳〕 第１相談室（１階１６号室） ２２０件【　２２０件】 ２４７名【　２５２名】 第１教養娯楽室（２階１７号室） １１９件【　１１９件】 １，６５３名【　１，８７４名】 第２・第３教養娯楽室（２階１４号室・１５号室） ０件【　０件】 ０名【　０名】 第２研修室（２階１８号室） ８７件【　６７件】 ５７６名【　５２６名】 福祉団体・ボランティア団体室（３階７号室） ３０５件【　２２３件】 １，４４１名【　１，０６７名】 第３研修室（３階８号室） １８０件【　１６６件】 １，４１６名【　１，３１３名】 会議室（３階９号室） ２４７件【　２３１件】 ３，７１７名【　３，７５４名】	た。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインを１２月に見直し、制限が緩和されるも、会議室等の利用定員は通常より少なくした。 今後も福祉センターの部屋の有効活用に努めたい。
イ 福祉センター憩いの場（老人趣味サークル及び囲碁・将棋）の提供 ㋐ 老人趣味サークル 庁舎移転に伴い、福祉センター貸館に期限があることを踏まえて、開催に向けて協議を行った。 囲碁は来年度から再開するが、シルバー社交ダンスは解散することとなった。 ㋑ 囲碁、将棋コーナー 第２・第３教養娯楽室（２階１４号室・１５号室） 毎週月～土曜日の午後　囲碁・将棋 利用日数　０日【　０日】 利用人数　０名【　０名】	今年度も昨年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両サークルともやむを得ず中止となった。

② 福祉機器の貸出

事業報告	評　　価
車いす、松葉杖、杖及び器材貸出事業 貸出件数　４３９件【２７１件】 〔内訳〕 車いす（２６０件）、松葉杖・杖（３０件）、高齢者擬似体験セット（６件）、アイマスク（１４件）、点字器（１２件）、白杖（４件）、テント（９件）、テント重り（２０件）、ブルーシート（１件）、視覚障害者用バレーボール（２件）、パーテーション（４０件）、パーテーション脚（２８件）、玉入れセット（２件）、バランスボール（１件）、長机（１件）、マイク（１件）、延長コード（１件）、スピーカー（１件）、赤リボン大（３件）、白リボン大（３件）	車いすや松葉杖等は在宅における一時的な生活の不便を解消する一助となっている。今後も利用促進に努めたい。

（５）苦情解決への対応

① 苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の活用

事業報告	評　　価
福祉サービス利用者からの苦情に対して適切な解決に努めるため、苦情解決相談窓口を設置しているが、今年度は、福祉サービス利用者からの苦情はなかった。 また、質の高い福祉サービスの提供を持続するため、令和４年度福祉サービス苦情解決責任者研修会に参加した。 令和５年　２月１４日　　山口県セミナーパーク 参加人員　　１人	福祉サービス利用者からの苦情はなかったが、苦情解決制度について、広く周知していきたい。

２　善意銀行事業　　9,515 円

地域福祉活動を推進するため、香典返し、チャリティー及びチャイルドシート等福祉用具の貸し出しに伴う御礼や善意の箱等への市民から心あたたまる寄付金等を善意銀行の財源とし、地域福祉活動推進事業やボランティア育成事業等に活用した。

（１）善意銀行事業の強化

事業報告	評　　価
寄付金は予算額に対して決算額は毎年度厳しい状況にあることから、寄付金を確保するための新たな手法として県内外の社会福祉協議会等での取組状況の把握に努めた。	引き続き安定的に寄付金が確保できるよう新たな手法の研究に努めたい。

（２）善意銀行事業の啓発

事業報告	評　　価
①　金銭寄付 件数及び金額　　３０１件【　　２８５件】 ３，９６８，６３１円【７，１１９，１８８円】 〔内訳〕 香典返し　　３件【　　７件】 ３２０，０００円【　９０５，０００円】 一般寄付　　１９２件【　　１７４件】 ２，９４０，６６７円【５，４１４，４０２円】 善意の箱　　１０６件【　　１０４件】 ７０７，９６４円【　７９９，７８６円】	金銭寄付は寄付件数が対前年度比で１６件増加した。引き続き、寄付金の主旨をＰＲするとともに社協の活動や地域福祉活動への理解促進を図り、増額につなげたい。
②　物品寄付 件　数　５８件【６５件】 〔内訳〕 お菓子（９件・２４箱）、大人用紙おむつ（２８件・８３袋）、尿とりパッド（３件・５４袋）、おしりふき（５件・２１個）、車いす（３件・３台）、シルバーカー（１件・１台）、チャイルドシート（２件・６台）、ポータブルトイレ（３件・３台）、ベビー用紙おむつ（１件・１袋）、女性用ナプキン（１件３袋）、女性用尿ケアパッド（２件６９袋）	物品寄付は社協だよりの「お譲りします」に掲載し、希望者に譲渡した。今後も有効に活用したい。

（３）印刷サービスの実施

事業報告	評　　価
香典返しの寄付者に対し、寄付行為のお礼はがきを寄付金額に応じて印刷した。 ①　依頼件数　　１件【　　５件】 ②　依頼枚数　　４０枚【１５５枚】	お礼はがきの印刷は、対前年度比で４件減少した。今後も利用促進に努めたい。

（４）善意の箱の設置拡充

事業報告	評　　価
市民が気軽に寄付できる環境をつくるとともに自主財源の確保として、現在の協力店へ引き続き協力を依頼した。	店舗の閉店により１か所減少した。今後も協力店を開

設置総数　７２か所【７３か所】	拓したい。

（５）寄付金による事業の研究

事業報告	評　　価
指定寄付等による寄付金の寄付者の意向に応じた事業について、県内外の市社会福祉協議会における指定寄付等による事業の取り組みを研究した。	寄付者の意思が事業に反映されることから、引き続き研究していきたい。

【地域福祉部門】

１　地域福祉活動推進事業　　10,345,635円

「福祉の輪づくり運動（困ったときにお互いが助け合える組織を地域でつくろう）」を基本とした地域福祉活動を推進するため、地域住民の参加と行政や関係団体等の協力を得て推進組織である各地区社会福祉協議会の活動支援並びに組織の充実強化に努めた。

（１）第三次防府市地域福祉活動計画の推進

事業報告	評　　価
防府市地域福祉推進協議会の開催 令和４年１２月１９日　　防府市文化福祉会館	計画の進捗状況を検証しながら実施した。今後も市と市社協の協働により、計画の事業内容及び進捗状況を確認しながら取り組む必要がある。

（２）地区社会福祉協議会の支援

① 地区社会福祉協議会研修会の支援

事業報告	評　　価
地域福祉活動計画を活用して地区社会福祉協議会活動（地区社会福祉協議会研修会）を支援した。 令和４年　５月１４日　右田地区社会福祉協議会 右田公民館　　参加人員　　７３名 令和４年　５月２９日　西浦地区社会福祉協議会 西浦公民館　　参加人員　　３９名	地区社協の研修内容について相談に応じ、開催を支援した。

令和４年　６月１１日　大道地区社会福祉協議会 大道公民館　参加人員　１００名 令和４年１０月１３日　牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館　参加人員　４５名 令和４年１０月１５日　華浦地区社会福祉協議会 華浦公民館　参加人員　５９名 令和４年１０月２２日　小野地区社会福祉協議会 小野公民館　参加人員　３６名 令和４年１１月２９日　勝間地区社会福祉協議会 勝間公民館　参加人員　４０名 令和５年　２月２１日　向島地区社会福祉協議会 向島公民館　参加人員　４０名 令和５年　２月２８日　佐波地区社会福祉協議会 佐波公民館　参加人員　４０名	

② 地区社会福祉協議会会長会議等の開催

事業報告	評　価
防府市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の連携強化を図るため、定期的に地区社会福祉協議会会長会議を開催した。 令和４年　４月２８日（第１回） ・令和４年度　事業計画・予算について ・令和４年度地域福祉係の事業について ◇敬老の日の事業 ◇子ども食堂（地域食堂） ◇ふれあい・いきいきサロン ・令和４年度市社協会費のお願いについて ・令和４年度地区社協への助成金等について ・情報交換 令和４年　７月２７日（第２回） ・市社協理事会について ・第 40 回　防府市総合社会福祉大会について ・敬老の日の記念事業について ・情報交換 令和４年１２月２１日（第３回） ・令和４年度市社協理事会の報告について ・令和４年度市社協事業について	地区社協会長会議を定期的に開催することで、市社協と地区社協の連携を深めることができた。 今後も定期的に開催するとともに、「地域共生社会」、「福祉の輪づくり運動」の取り組み等の情報提供に努めたい。

◇福祉員並びに友愛訪問グループ員の選出 ◇自治会福祉部 ◇「敬老の日」記念行事等の事業状況 ◇幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会 ◇歳末たすけあい運動の報告 ◇地域福祉(福祉の輪づくり運動)推進セミナー ◇「7才の交通安全プロジェクト」横断旗の寄贈 ・情報交換 ◇大道地区社会福祉協議会 （大道地域の福祉に関するアンケート結果のまとめ） 有償ボランティア活動の状況について ◇小野地区社会福祉協議会 小・中学生が一緒に参加している地区社会福祉協議会の事業について ◇野島地区社会福祉協議会 会費について 令和５年　２月２７日（第４回） ・令和４年度市社協事業の報告について ◇歳末たすけあい運動 ◇コミュニティソーシャルワーク実践研修 ◇子ども（地域）食堂 ◇福祉員、友愛訪問グループ員活動 ◇「7才の交通安全プロジェクト」における『横断旗』の寄贈 ・令和５年度市社協会費について ・情報交換 ◇大道地区社会福祉協議会 「在宅訪問サービス活動」について	

③ 福祉員及び友愛訪問グループ員活動（友愛訪問活動促進事業）の支援

事業報告	評　　価
地区内の福祉問題を把握して関係者への連絡や協力を促していく福祉員の活動及び在宅ひとり暮らし高齢者への見守りや訪問をする友愛訪問グループ員の活動を支援した。 ア 福祉員　　２８８名【２８６名】 イ 友愛訪問グループ員　　２９０グループ（７０１名） 【２８６グループ（７００名）】	個別相談等をとおして、これまでの見守り活動等が継続されるよう支援を行った。

ウ 在宅ひとり暮らし高齢者　６，０８３名【５，２１２名】	

（３）小地域福祉活動の強化

① 地域見守り・支え合い体制強化事業の実施

事業報告	評　　価
ア 生活関連事業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりの支援 在宅ひとり暮らし高齢者等が､住み慣れた地域で安心して生活できるよう民間事業者及び福祉専門職等が連携した取り組みを行った。 イ 医療・福祉との連携による見守り困難事例への体制づくりの支援 高齢者虐待防止ネットワーク（関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止）に参加した。	実際に地域で起きている事例について共に考え、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、意見を出し合う会議を開催することができた。小地域福祉活動の継続的な支援が必要である。
ウ 見守り活動等の担い手研修会の開催 我が事を意識した「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」の見守りと助け合いが、防府の福祉風土の醸成と地域活動の推進に結び付くよう地域福祉推進セミナーを開催した。	地域共生社会を目指し『丸ごと』取り組めるよう、専門機関、生活関連事業所を含め広く周知した結果、企業ボランティア活動モデル推進事業所からも参加を得た。
エ　地区社協構成団体支援 ・華城地区社協定例会部会長等連絡会議 令和４年　６月　７日　　華城公民館 参加人員　　１５名 ・華城地区友愛訪問グループ員協議会の総会 令和４年　６月２６日　　華城公民館 参加人員　　７０名	
オ　地区民児協のフードパントリー活動の支援 西浦地区の民生委員・児童委員が主体となって実施しているフードパントリー活動に令和４年度厚生労働省補助事業の「子どもの食生活支援に係る緊急の助成」の助成金の申請を行う支援をした。 （助成実施対象月、実施回数：９月、２回）	通常の活動原資が寄付と自作野菜と限られているが、この助成金により配布内容を充実させることへの支援ができた。

② ふれあい・いきいきサロンの設置及び活動支援

事業報告	評　　価
ア ふれあい・いきいきサロン設置総数　　１２７か所【１２１か所】 イ 活動支援と連絡調整 　地域住民グループ支援事業により「ふれあい・いきいきサロン」の活動支援と連絡調整を行った。 ウ ふれあい・いきいきサロンへの職員訪問 １８件【２５件】 エ ふれあい・いきいきサロンへの講師派遣 １８件【　６件】	福祉の輪づくり運動の一環として、ふれあい・いきいきサロンの活動を支援した。参加者は主に高齢者のため、児童、子育て中の人や障害を持つ人の参加できる場となるよう支援が必要である。
オ ふれあい・いきいきサロンへのグッズ貸出 ２６件【１７件】	講師派遣、及びグッズ貸出は、緊急事態宣言中及びまん延防止期間中は、感染症対策を確認し、開催の有無に関しては都度、状況に応じた対応をした。
カ ふれあい・いきいきサロンスタート講習会の開催 「ふれあい・いきいきサロン」を開設する予定のある方、関心のある方、後継者の育成をしようとしている方、現在担い手の方を対象に、地域におけるサロンの役割等を伝え、実際の開設に必要な準備の部分と、担い手のモチベーション向上に努めた。 令和５年　３月９日　防府市文化福祉会館 参加人員　５６名【４８名】 〔内容〕 講演「ふれあい・いきいきサロンとは」 講師　防府市社会福祉協議会　地域福祉係　係長　上田　竜資 講演「貯筋活動で心も身体も健康に」 講師　Fitness Life Y 代表　長野由美子　氏 キ ふれあい・いきいきサロンの個別相談 ４３０件	講習会では、サロン活動の地域における役割など、改めてサロンや地域福祉について理解を深めてもらった。新型コロナウイルス感染拡大予防ため、サロン開催の中止・延期が相次ぎ、従来の活動が困難な中で、地域の実情や感染拡大の状況に応じた個別相談が増加した。自治会福祉部の任期に伴う代表者変更で、サロン経験の浅い新任の代表者からの活動への不安や相談事が多くなり、相談に応じた。

③ 在宅ひとり暮らし老人の会の支援

事業報告	評　　価
令和４年　７月１７日～１２月２８日 西浦地区社会福祉協議会 １自治会は親睦会形式で開催し、その他自治会は弁当や果物等を配布 対象者　１３６名 令和４年１１月１３日 大道地区社会福祉協議会 レクリエーションやスポーツ、ゲームを体験 参加者　　５０名 令和４年１１月２６日 小野地区社会福祉協議会 犯罪被害防止アドバイザーと健康運動指導士を招き研修会を開催 参加者　　１７名 令和４年１２月　８日～１２月１５日 中関地区社会福祉協議会 民生委員・福祉員・友愛訪問員の協力を得てカイロを配布 対象者　３４２名 令和５年　３月　３日 華浦地区社会福祉協議会 民生委員・福祉員・友愛訪問員の協力を得てふれあい弁当を配布 対象者　６６０名	孤立の防止とつながりの強化を目的としている。コロナ禍のため、地区においてはできる範囲で工夫して開催している。 さらに高齢化が進むため、今後も継続した支援が必要である。

④ 多世代地域交流拠点としての子ども食堂（地域食堂）の活動支援

事業報告	評　　価
ア こども（地域）食堂へのボランティア派遣 令和４年　４月　５日　スマイルホーム　２名 令和４年　６月　４日　スマイルホーム　１名 令和４年　６月　５日　スマイルホーム　１名 令和４年　６月１１日　さばっこの会　１８名 令和４年　７月　３日　スマイルホーム　１名 令和４年　８月２０日　かいほく地域食堂　２名 令和４年　８月２１日　まつぼっくり食堂　１名 令和４年１０月１６日　スマイルホーム　２名 令和４年１０月２３日　さばっこの会　２８名 令和４年１１月１８日　スマイルホーム　１名 令和４年１１月１９日　スマイルホーム　２名 令和５年　１月１５日　スマイルホーム　１名	高校生ボランティアや個人ボランティアは、コロナのため活動の機会が減少した。人手を必要としている子ども食堂を中心にボランティア支援を行った。 ボランティア活動に参加することで、子ども食堂の周知や理解につながった。

令和５年　２月２６日　さばっこの会　　３名	

（４）地域福祉力の強化

① 小地域見守りネットワーク活動の支援

事業報告	評　　価
民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員及び自治会福祉部関係者等と連携しながら、在宅ひとり暮らし高齢者等を対象とした小地域での見守り活動及び訪問活動を支援した。 ア 在宅ひとり暮らし高齢者　６，０８３名【５，２１１名】 イ 地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナー 我が事を意識した「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」の見守りと助け合いが、防府の福祉風土の醸成と地域活動の推進に結び付くよう地域福祉推進セミナーを開催した。 令和５年　１月３０日　　防府市文化福祉会館 参加人員　　６０名 ［内容］ 講演「地域共生社会と地域福祉活動について －地域福祉の縦糸と横糸－」 講師　山口県立大学　名誉教授　　草平　武志　氏 ウ 見守りネットワーク連絡会議への出席 令和４年　５月３１日　　山口市 参加人員　１名	地域住民の困りごとを早期に発見し、専門機関や住民活動による支援に結びつくよう調整を行った。 地域での課題が、児童、障害、高齢、ひとり親、引きこもり等多岐に及ぶため、引き続き『我がこと』として地域の状況を把握し課題に合ったテーマで、継続的に実施することが必要。

（５）地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

事業報告	評　　価
防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会については、定例会を年２回開催した。 防府市社会福祉施設連絡協議会については、コロナ禍のため、中止となった。	推進協議会については、定例会を２回開催し、来年度の事業活動（案）を採択した。今後も、活動を継続する必要がある。

（６）福祉専門職コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）の配置

事業報告	評　　価
制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけ	

では対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを配置した。

① 配置人数　２名

② ＣＳＷ活動状況

③ 相　談　分　類	件　　数
介護保険・高齢サービスに関すること	２件【　３件】
障害者総合支援･障害サービスに関すること	３件【　３件】
父子・母子世帯に関すること	１件【　２件】
子育て・子どもの教育に関すること	４件【　８件】
地域福祉に関すること	５６件【２８件】
生活保護に関すること	０件【　０件】
健康・医療に関すること	１件【　０件】
経済的援助に関すること	０件【　０件】
就労に関すること	０件【　０件】
身の回りの世話に関すること	１件【　０件】
家族関係	３件【　０件】
福祉制度等に関する連絡調整	１件【　０件】
高齢者、障害者、児童に関する行事等	２件【　６件】
社会資源等に関する連絡調整	２件【２５件】
地域の会議、サロン訪問等	４３０件【３０１件】
機関・組織開催の会議、研修、行事等	１件【　３件】
その他研修会、視察等	１件【　３件】
講師派遣	１９件【　０件】
その他（ボランティア）	２２件【３３件】
合　　計	５４９件【４１５件】

※相談分類は複数の項目に重複している場合、各項目にカウント

（７）コミュニティソーシャルワーク（CSW）実践研修会開催への取り組み

事業報告	評　　価
コミュニティソーシャルワーク実践研修会の開催 山口県社会福祉協議会が主催するコミュニティソーシャルワーク実践会を共催した。同会は、第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期に分かれており、講義やワークショップを行って地域の福祉課題の解決に取り組むものである。特に、第Ⅱ期のフィールドワークでは、市内牟礼地区の民生委員児童委員の方々の協力を得て開催した。 第Ⅰ期　　令和４年　７月２９日～３０日　　山口市	参加した研修生だけでなく、協力してくださった民生委員児童委員も充実したフィールドワークとなり、地域福祉の深化につながった。

参加人員　　２人 第Ⅱ期　令和４年１１月１１日～１２日　牟礼公民館 参加人員　　３０名 第Ⅲ期　令和５年　１月２０日　山口県社会福祉会館 参加人員　　２人	

（８）防府市民生委員・児童委員協議会との連携及び支援

事業報告	評　価
① 民生委員・児童委員及び地区民生委員児童委員協議会活動への協力・支援 防府市民生委員･児童委員協議会及び各地区民生委員児童委員協議会定例会等を支援した。 延２６回　参加人員５４２名 【延１６回　参加人員２８２名】	民生･児童委員や地区民児協会長から相談、問い合わせが出来る体制を整えたことにより、委員活動、地区民児協活動を推進することができた。
① ふれあいネットワークづくり運動に対する支援 令和４年度ふれあいのネットワークづくり運動 ㋐ ネットワークづくりを実施した民生委員・児童委員 １５４名【　７９名】 ㋑ ネットワークづくりを実施した対象者 ２１２名【２１０名】 【属性別内訳】 A　ひとり暮らし　１６６名 B　２人以上の高齢者世帯　３４名 C　ひとり親・世帯　４名 D　その他　８名	民生･児童委員を中心にふれあいのネットワークづくり運動を進め、支援を必要とする人を支えるネットワークが形成された。今後の社旗情勢を鑑み、地区社協との連携が求められる。
③ 全国民生委員互助共励事業の実施 互助事業は、会員の死亡、疾病、災害にかかる弔慰金及び見舞金に関する受付及び申請をした。	

（９）防府市自治会連合会との連携及び自治会福祉部の支援

事業報告	評　価
地区社会福祉協議会が開催する福祉関係者合同研修会等（地区社協役員、福祉員、友愛訪問グループ員、民生委員・児童委員、自治会長、自治会福祉部長、自治会役員、老人クラブ、ボランティア）で福祉サービス情報や活動事例を説明し、情報提供と連携を図れるよう支援し	地域の福祉行事の際、単位自治会長や福祉部長の支援により活動を円滑に推進できるので、今後も協働で

た。 　自治会福祉部活動の支援につなげるため、地区社協会長会議で実態についてアンケート調査を実施した。	きる体制づくりに努めたい。

（１０）地域福祉関係の研修

事業報告	評　　価
令和４年　６月２９日 山口県立総合支援学校公開支援 参加人員１名 令和４年　７月２２日 市町社協福祉協議会地域福祉・ボランティア担当者との情報交換会 Web　参加人員３名 令和４年１０月１９～２０日 防災フェア２０２２ 三友サルビアホール　参加人員６名 令和４年１１月１４日 佐波地区民児協視察研修 岩国市　参加人員１名 令和４年１１月２１日 市町社会福祉協議会地域・ボランティア担当職員研修会 Web　参加人員１名 令和５年　３月　６日 ふくしの保険セミナー Web　参加人員２名 令和５年　３月２２日 市町社会福祉協議会地域福祉・ボランティア担当職員研修会（市町社協福祉教育担当者会議） Web　参加人員２名	地域福祉事業に関する研修等に積極的に参加し、業務につながる自己研鑽に努めた。

２　老人福祉事業　26,539,393 円

高齢者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

（１）防府市からの受託事業の推進

事業報告	評　　価
① 老人寝具乾燥事業 在宅寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者等（いずれも低所	民生・児童委員の協力を得て、対象となる世帯に寝

得世帯を対象）が日常生活に使用する布団、毛布等の寝具乾燥を実施し、保健衛生の向上に努めた。 ア　実施期間　令和４年　７月　１日～令和５年　２月２８日 イ　実施世帯　２５０世帯【２２８世帯】 ウ　実施枚数　４８４枚　【４４５枚】 〔内訳〕 敷布団１１５枚【１２７枚】 掛布団２０６枚【１６６枚】 毛布　１６３枚【１５２枚】	具の洗濯・乾燥を行うことで衛生状態の向上に加え、見守り活動や実態把握の一助となった。新型コロナウイルス感染症の影響により時期を遅らせての実施となった。地域包括支援センターやケアマネージャー等にも取り組みが浸透し、地域の見守り体制や活動の促進へとつながった。
②老人スポーツ普及事業 第５０回防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会の開催 令和４年　９月１５日 防府市スポーツセンター運動広場 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や交流を控える状況が続いたことを踏まえ、感染症収束後は健康増進と交流を図り、健康づくりや生きがいづくりにつなげる。
③三世代交流事業 １２地区老人クラブ連合会及び１地区社会福祉協議会へ三世代交流活動費を助成し活動を支援した。 参加人員　６，５６８名【４，８８３名】	高齢者が中心となって様々な遊びをとおして、高齢者の経験や技術を子や孫に伝承し、世代間の交流を深めるとともに高齢者の生きがいを高めた。
④幸せます大学（老人大学校）設置運営事業 高齢者及び向老期の方々に対し、体系的な学習の機会を提供することにより、社会経済の変化への適合と生きがいのある豊かな老後を創造することを目的に開講した。 第２１期幸せます大学（前期） 防府市文化福祉会館等　参加延人員　３００名【１６２名】	２年間の講座の前期にあたり、健康、地域貢献を重視した講座を重点的に行った。
⑤地域住民グループ支援事業 地域住民の自主的な活動として各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン等」に健康運動指導士・歯科衛生士・管理栄養士を紹介・派遣している。 今年度は、健康運動指導士５件、管理栄養士１件、歯科衛生士１件を派遣した。 地域の会議、サロン訪問等　　１８件【　２５件】	高齢者等に対し一層の介護予防が図れるよう地域住民の自主的グループの活動支援と連絡調整を行った。

（２）防府市からの補助事業の推進

事業報告	評　　価
①　総合社会福祉大会事業 第４０回防府市総合社会福祉大会を福祉関係６団体が主催で開催し、永年にわたり社会福祉へ貢献された方への表彰を行うとともに、市民の福祉への関心を高めるために記念講演や福祉機器展等を行った。 令和４年　９月　３日　三友サルビアホール（防府市公会堂） 参加人員　２５０人　【―人】 〔内容〕 記念講演　演題　「病まざる　老けざる　ホンマの医学～」 講師　おおたわ　史絵 氏 福祉展　　福祉機器展、福祉施設作品展及び即売、 福祉相談コーナー ・運営委員会の開催 第１回　令和４年　６月２０日　　防府市文化福祉会館 第２回　令和４年　７月２７日　　防府市文化福祉会館 ・表彰選考委員会の開催 令和４年　７月　８日　　防府市文化福祉会館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていたため、３年ぶりの開催となった。しかし、コロナウイルス感染症の影響により、参加人数が予定より少なかった。今後は内容を工夫し、参加人数の増加に努めたい。
②敬老会等助成事業 ア　地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成 全地区において、新型コロナウイルス感染症の影響で地区全体が集まる形の敬老会（式典等）を中止して単位自治会での実施となった。各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、商品券、記念品を対象者宅に届けるため助成した。 イ　社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内の高齢者施設で実施される敬老会等行事に対して地区社会福祉協議会を通じて助成した。	敬老会行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。７５歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老会等の運営について支援した。

（３）高齢者福祉の推進

事業報告	評　　価
高齢者虐待防止ネットワークへの支援 関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発	地域の高齢者を見守るネットワークと連携できる

見、早期対応及び再発防止を図った。	機会となる。

３　障害福祉事業　　13,167 円

障害者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

（１）防府市からの受託事業の推進

事業報告	評　　価
① 障害者スポーツ交流支援事業 ア山口県キラリンピックへ参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	障がい者のスポーツを通して交流を深めるための事業であるが、コロナ禍で中止となった。
イ 第６０回防府市障害者体育大会の開催 令和４年１０月　８日　　防府市文化福祉会館　前庭 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 開催について協議 令和４年　７月２８日　　主催団体で協議 令和４年　８月３０日　　実行委員会で中止と決定	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点より、関係団体や機関と協議を行い、参加者の障がい特性等もふまえて中止とした。
②　障害者レクリエーション推進事業 在宅知的障がい者（児）とその家族を対象に、「みかん狩り」を実施し、社会参加及び家族間の交流を図る予定であった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	レクリエーションを通して日常で体験できないことを経験する機会を提供するとともに、在宅の知的障がい者・児とその家族が交流を深め、積極的な社会参加を行う場を提供するために企画したが、コロナ禍で中止した。
③　障害者地域参加促進事業 ア 視覚障がい者の部 ・レクリエーション（みかん狩り）の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 イ 聴覚障がい者の部 ・工場見学の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	聴覚障がい者や視覚障がい者を対象に社会生活や家庭生活に対する学習の機会を提供するとともに、日常で体験できないことを経験する機会を提供することにより、教養を高め、日常生活の向上とコミュニケーシ

	ョンを深めるために社会参加を促進するために企画したが、コロナ禍で中止した。

（２）防府市障害福祉団体連合会及び障害者福祉団体活動の支援

事業報告	評　　価
障害者福祉団体活動の支援 ア 防府市ふうせんバレーボール大会への参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 イ 防府市障害者親睦卓球大会への参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	障福連行事の運営補佐をすることで、円滑な進行を助け、会員の交流や社会参加を支援する予定であったが、コロナ禍で中止となった。

（３）難病対策の支援

事業報告	評　　価
山口・防府難病対策地域協議会支援者会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	今後も関係機関のそれぞれの取り組みや当事者の意見を把握し連携を図ることが必要。

（４）精神保健に関する事業の支援

事業報告	評　　価
精神保健福祉関係者基礎研修 令和４年　５月２４日　Web　参加人員１名	今後も精神保健関係に必要な基礎知識、技能を習得し、連携する団体の役割の把握が必要

（５）防府市地域総合支援協議会の支援

事業報告	評　　価
協議会への出席 令和４年　８月１２日（第１回） 書面開催 令和５年　２月　９日（第２回）	相談支援事業をはじめ、困難事例等への対応や障害者福祉長期計画等の策定について協議した。

防府市役所　　参加人員　１名	

４　児童福祉事業　　551,600 円

児童の福祉増進のために、次の事業を実施した。

（１）「赤ちゃん文庫」事業の推進

事業報告	評　　価
赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て産後２～３か月児の家庭訪問に際して、絵本を 1 冊ずつ贈呈した。 人　数　７６４名【８０５名】	子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながっている。子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のための関係機関との連携につながっている。 今後、視覚障がいのある方や外国語を母語とする方への配慮が求められる。

（２）チャイルドシート貸出事業の推進

事業報告	評　　価
里帰り等で６歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する必要がある場合に、１か月を限度に貸し出した。 ① 利用人数　　２６６名【１９６名】 ② 貸出回数　　３１９回【１７８回】 　ベビー用　　３６回【　２４回】 　乳幼児用　　２５１回【１５２回】 　学童用　　３２回【　２０回】	ホームページ等での周知をしている。少しずつ貸出も増加している。無料貸し出しではあるが、福祉活動への寄付金につながっている。今後も利用促進に努めたい。

（３）小地域見守りネットワーク活動の推進

事業報告	評　　価
社会福祉施設、学校、老人クラブ及び地区社会福祉協議会、地区民	今後もきめ細かい地域の見

生委員児童委員協議会との連携につながる活動を支援した。	守り体制の支援に努めたい。

（4）子どもの居場所づくりの支援

<table>
<tr><th>事業報告</th><th>評　　価</th></tr>
<tr><td>
幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会を通して子どもの居場所づくりを支援した。
① 加入団体数
市内食堂数　　１２食堂
サポーター会員　１５団体

②子ども食堂開催状況
<table>
<tr><th>食堂名</th><th>回数</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>あおぞら食堂（華浦）</td><td>２１</td><td>長期休暇時等</td></tr>
<tr><td>スマイルホーム（中関）</td><td>7</td><td>4/5、5/5、6/5、7/3、11/16、11/19、1/15</td></tr>
<tr><td>ひだまり食堂（佐波）</td><td>３９</td><td>学習支援、フードパントリー
夏祭り等</td></tr>
<tr><td>さくら食堂（向島）</td><td>１２</td><td>毎月第２土曜日１１時</td></tr>
<tr><td>さばっこの会（佐波）</td><td>5</td><td>6/11、10/23、1/29，2/26，3/26</td></tr>
<tr><td>まつぼっくり食堂（松崎）</td><td>6</td><td>6/19, 8/21, 11/23, 12/25, 1/15, 2/26</td></tr>
<tr><td>勝間ふれあい食堂（勝間）</td><td>1</td><td>12/27</td></tr>
<tr><td>かいほく地域食堂</td><td>3</td><td>8/20，1/6，3/25</td></tr>
<tr><td>計</td><td>９４</td><td></td></tr>
</table>
</td><td>
今年度、サポーター会員の加入はなかった。
各子ども食堂は、コロナ禍にあってもお弁当配布に切り替えるなどの工夫をしながら開催した。また、食糧、物資等でサポートしてくれる会員が増加し、地域でのつながりも深まった。
</td></tr>
</table>

5　ボランティアセンター事業　　1,947,271 円

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、関係機関及び団体に対して福祉教育等の育成支援を行い、福祉の推進に資するために次の事業を実施した。

（1）あらゆる人の社会参加を支援

① ボランティアコーナーの設置

事業報告	評　　価
週２回ボランティアアドバイザーを配置して、ボランティア及びボ	新型コロナウイルス感染

ランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティア同士が気軽に交流できるように交流の場を提供した。 ア 開設曜日・時間　月・金曜日　１３：００～１６：００ イ 開 設 場 所　ボランティアコーナー（2階１６号室） ウ 開 設 日 数　　２９日【　３５日】 エ 延来場者数　１５７名【１８５名】	症拡大防止対策によって、ボランティアコーナーは状況を確認しながら開設した。 　ボランティア活動の開始や継続の支援を行いつつ、ボランティア同士の交流を促進した。ボランティアコーナーが、ボランティア活動の支援につながっている。今後もボランティアアドバイザーとボランティアコーディネーターが連携し、ボランティアの増加に努めたい。

② ボランティア相談の受付

事業報告	評　　価
ボランティアコーディネーターを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティアを必要とする施設・団体・個人とボランティア団体・個人を結びつけた。 　相談件数　　４４３件【５７１件】	誰もが気軽に活動に参加できるようボランティアセンターの機能を強化し、相談体制の充実や情報の提供に努める必要がある。

③ ボランティア研修の開催

事業報告	評　　価
ア 音訳ボランティア講習会 　　視覚障害者への情報提供の手段として、書かれた文字を音声に訳すボランティアを養成する講習会を年間１０回開催した。 　　令和４年　４月１３日～令和５年　３月　８日 　　防府市文化福祉会館　参加延人員　　６０名【１３６名】 イ ボランティア入門講座 　　令和５年　３月２４日 　　防府市文化福祉会館　参加人員　　１６名【　１９名】	音訳ボランティア講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大により、１度休講となったが、３月に補講を実施し、年度内に全日程を終えた。

ウ　講師の派遣 令和４年１２月４日　　防府市手話奉仕員養成講座 防府市文化福祉会館　　派遣人員　１名	

④ ボランティア団体・個人の活動支援

事業報告	評　　価
ア ボランティアセンター登録の実施 ㋐ ボランティア団体　３７団体【３８団体】 ㋑ 個人ボランティア　１３３名【１１１名】	広報紙などでボランティア活動の紹介等を行い、継続的に支援した。個人ボランティアや登録団体の増加を図るため、ボランティアセンター登録のメリットを周知していきたい。
イ ボランティア活動等保険への加入促進 ㋐ 加入取扱件数 ボランティア活動保険　３，７２９名【４，０３３名】 ボランティアセンター登録団体及び個人ほか 市社協理事及び評議員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、福祉員、友愛訪問グループ員 ボランティア行事用保険　　１３０件【７５件】 福祉サービス総合補償　　１１件【１０件】 ㋑ 事故取扱件数 ボランティア活動保険　　７件【　６件】 ボランティア行事用保険　　０件【　０件】 福祉サービス総合補償　　１件【　０件】	保険への加入促進を行うとともに、事故発生時に速やかに手続きを行い、加入者に適切な補償を迅速に行った。

（２）協働の推進

① 協働情報紙「まなぼら」の発行

事業報告	評　　価
ボランティア情報を提供するために防府市生涯学習課、防府市市民活動支援センター及び防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）が協働で作成して、ボランティア及び生涯学習等についての情報を発信した。 ア 発行回数　年４回（６月、９月、１２月、３月）発行	市民が活用しやすい情報を提供することができた。 市民活動やボランティア活動を活性化していくためには、今後も三機関が協力して発行していくことが必

イ 発行部数　２，１１０部	要であり、情報収集を積極的に行っていきたい。

② ボランティア行事への参加協力

事業報告	評　　価
防府市生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバルの企画・運営等を行う実行委員会及び生涯学習フェスティバルに参加し、協力した。 ア 実行委員会　　防府市文化福祉会館　参加人員　１名 令和４年　９月　７日（第１回） 令和４年１０月　６日（第２回） 令和４年１１月　２日（第３回） 令和４年１２月　８日（第４回） 令和５年　１月２６日（第５回） 令和５年　２月２８日（第６回） イ 生涯学習フェスティバル 令和５年　２月２６日　防府市文化福祉会館　参加人員　１名	市民に身近なフェスティバルの開催に寄与した。市民がフェスティバルに参加することで、ボランティア活動への理解が深まり、ボランティア活動への参加につながるよう更なる啓発に努めたい。

③ 地域における福祉教育の推進

事業報告	評　　価
ア 福祉体験学習への支援 ㋐ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）におけるゲストティーチャーの派遣支援 令和４年　９月２０日　新田小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１０月　３日　華浦小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１０月　６日　新田小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１０月１１日　華浦小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１０月１３日　玉祖小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１０月１８日　右田小学校	打ち合わせの段階から地区社協及び地区民児協とともに福祉体験学習の企画立案に取り組んだ結果、学校、地域、社協の意見が集約された体験学習となった。 車いす及びアイマスク体験を実施したことにより、地域の方々と学校との関係づくりの強化につながった。 また、複数日に分けて実施した学校もあり、体験だけでなく、福祉について詳しく教えることができ理解が深まった。

点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１０月２０日　玉祖小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１０月２７日　小野小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１０月２７日　富海小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１１月　４日　牟礼小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１１月　８日　牟礼小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１１月１１日　向島小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１１月１４日　華城小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 令和４年１１月１５日　向島小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和４年１１月２８日　華城小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和５年　１月２３日　勝間小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 令和５年　１月２７日　勝間小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 ㋑ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）における職員の派遣 令和４年　５月１７日　牟礼南小学校 総合的な学習 令和４年　６月２２日　牟礼南小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年　７月１９日　小野小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年　８月３１日　華浦小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年　９月１３日　新田小学校 車いす体験及びアイマスク体験	今後も引き続き福祉教育の必要性を周知するとともに、現在要望がない学校へは更なる広報に努めていく必要がある。

令和４年　９月２２日　玉祖小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年　９月２６日　華城小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年　９月２９日　野島小中学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年１０月　４日　華城小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年１０月２７日　向島小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和４年１１月　１日　向島小学校 車いす体験及びアイマスク体験 令和５年　１月１６日　向島小学校 車いす体験及びアイマスク体験 イ 防府市青少年ボランティア推進委員会への協力 青少年によるボランティア活動に協力した。	

④ 企業等社会貢献活動の推進

事業報告	評　　価
ア 企業ボランティアモデル事業所（山口県、山口県社会福祉協議会、山口きらめき財団指定事業）の支援 社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動への支援などを積極的に行う企業を企業ボランティアモデル事業所として指定しており、ボランティア情報等を提供した。 ・マツダ株式会社防府工場（平成８年度から指定） ・東山口信用金庫（平成１１年度から指定） ・株式会社丸久（平成１５年度から指定） ・株式会社ブリヂストン防府工場（平成２１年度から指定） ・山陽建設工業株式会社（令和元年度から指定） ・村田株式会社（令和元年度から指定） ・イオンリテール株式会社イオン防府店（令和２年度から指定） ・株式会社イズミゆめタウン防府店（令和２年度から指定） ・澤田建設株式会社（令和２年度から指定） ・大村印刷株式会社（令和３年度から指定） ・中村被服株式会社（令和３年度から指定） ・株式会社レノファ山口（令和３年度から指定） ・サンタキッズ＆ファミリークリニック（令和４年度から指定）	企業ボランティアモデル事業所を企業、団体及び市民に周知することで、企業のボランティア活動を促進した。今年度は、新たに１つの企業が指定を受けた。 今後も引き続き広報紙等で周知するとともに、連携を図りたい。

イ 研修会への参加 令和４年１１月１７日　協働の推進ネットワーク会議 山口市　参加人員　２名	

⑤ ボランティア推進機関との連携及び活動支援

事業報告	評　　価
幅広くボランティア推進機関及びボランティア団体等と連携するとともに活動を支援した。 ア 防府市市民活動支援センター、防府市生涯学習ボランティア相談コーナー等との連携 イ 特定非営利法人（ＮＰＯ法人）との連携及び活動支援 ウ 防府ボランティア連絡会との連携及び活動支援 ㋐ 例　会 原則として毎月第１木曜日　参加人員　１名 ㋑ 行　事 令和４年１１月２１日　防府ボランティアのつどい 防府市文化福祉会館　参加人員　１名 ㋒ 令和５年　３月１６日　県内研修 萩市社会福祉協議会　参加人員　１名	市民活動支援センター、生涯学習ボランティア相談コーナー等と連携し、地域のボランティアやＮＰＯ法人からの相談に応じ、活動を支援した。 例会、行事及びつどいに参加して連携及び活動支援を行うことで、会員･団体と関係づくりを強化できた。

⑥ 災害ボランティア活動の支援

事業報告	評　　価
災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、ＩＣＴを活用する県社協の主催する県内社協合同の研修会に参加した。 令和４年　９月２７日 県社協導入説明会　Web　参加人員　２名 令和４年１０月２５日～令和５年２月３日（計１２回） 合同研修会　Web　参加人員　２名 令和５年　１月２４日 市町社協災害ボランティアセンター運営者養成研修会 Web　参加人員　２名 令和５年　３月　２日	災害ボランティアセンター運営に関するＩＣＴ活用基礎的な知識を学んだ。今後、県内社協で活用できるシステムにするため、代表者会議に参加している。災害時に活用しやすい迅速なセンター運営ができるように努めたい。

県内代表者会議　　Web　参加人員　２名	

（３）組織基盤の強化

① ボランティア団体への助成

事業報告	評　　価
防府市における非営利の自主的、主体的なボランティア活動で、特に福祉分野におけるボランティア活動を目的とした団体を支援するとともに、個々の団体に対する支援をとおし、防府市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図ることを目的として助成した。 ボランティア活動基本助成　　９件【　１０件】	新型コロナウイルス感染症の影響から申請団体が減少した。ボランティア団体に対する支援をとおして、市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図るとともに新たな活動を支援していきたい。

② ２４時間テレビ「愛は地球を救う」への協力

事業報告	評　　価
市内５校の高校生、市内１校の短大生、市内１校の専門学校生ボランティアが募金活動に従事し、街頭募金を実施して２４時間テレビ「愛は地球を救う」に協力した。また、事前学習会を行うことで、募金活動の趣旨を理解するように努めた。 令和４年　８月２３日　事前学習会 防府市文化福祉会館　　参加人員　４５名【 － 名】 令和４年　８月２８日　街頭募金 イオン防府店、ゆめタウン防府　参加人員　５３名【 － 名】	市内全校の高校生・短大生・専門学生ボランティアが募金活動に従事した。 事前学習会に参加した生徒・学生は、当日の取り組みに積極性が見られた。今後も引き続き、事前学習会を実施し、活動の活性化を図りたい。

【生活支援部門】

1　生活支援事業　　6,528,441 円

地域における相談や援助活動の充実及び住民の参加による各種福祉サービス等の実施に向け、総合的に行った。

（１）福祉総合相談事業

① 福祉総合相談の開催

事業報告	評　価

1　開催状況

相談区分	担　当	開設日数	相談人数	相談件数
心配ごと相談	相談員	２４２日 【２０８日】	４４名 【７２名】	４１件 【６７件】
労働・年金相談	社会保険 労務士	９日 【１０日】	４名 【　５名】	４件 【　５件】
住宅相談	建築士	１１日 【１０日】	０名 【　０名】	０件 【　０件】
登記等相談	司法書士	２３日 【１９日】	７４名 【５７名】	６６件 【４４件】
法律相談	弁護士	２３日 【１９日】	１２５名 【１１８名】	１０９件 【１０４件】
合　計		延べ３０８日 【２６６日】	２４７名 【２５２名】	２２０件 【２２０件】

2　相談業務取扱件数（心配ごと相談、労働・年金相談、住宅相談、登記等相談、法律相談）

種　別	専門相談員 取扱件数	種　別	専門相談員 取扱件数
生計	４【　１１】	人権・法律	４０【　２３】
年金	３【　５】	財産	６８【　６３】
職業・生業	１０【　３】	事故	１【　２】
住宅	２１【　２６】	児童福祉･母子保健	１【　０】
家族	１５【　３０】	教育・青少年	１【　０】
結婚	３【　２】	心身障害者福祉	０【　２】
離婚	１９【　１２】	母子福祉･父子福祉	０【　０】
健康・衛生	１【　３】	老人福祉	７【　０】
医療	１【　３】	苦情	３【　６】
精神・衛生	１【　２】	その他	２１【　２７】
合　計			２２０【２２０】

上記のうち解決したもの	１４２【１４１】
継続指導中のもの	７【　６】
他機関に紹介・その他	７１【　７３】

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、概ね計画どおり開催することができた。

相談区分によっては、相談人数のばらつきが大きい。

住宅相談については、利用者減のため今年度をもって終了することとした。

② 福祉総合相談窓口の広報啓発活動の推進

事業報告	評　　価
社協だよりやホームページに福祉総合相談の内容を掲載し、広く周知を図った。	市民に広く周知することにより、問合せが増加した。

（２）有料在宅福祉サービス事業

有料在宅福祉サービス事業は、住民参加型（会員制）による有料の家事援助を中心とした事業です。家事援助等の支援が必要な高齢者世帯や障害者世帯等へ協力会員を派遣し、住み慣れたところで安心して暮らせるための在宅福祉の支援・向上に努めた。

① 利用会員及び協力会員の募集

事業報告	評　　価
ア 令和４年度活動状況 ㋐ 登録会員 協力会員数　８名【１８名】 利用会員数　３３名【５６名】 ㋑ 実働会員 協力会員数　６名【　６名】 利用会員数　３０名【３７名】 ㋒ 実稼動延回数及び延時間 実稼動延回数　６５９回　【　６４７回】 延時間　１，１５５時間　【１，１２３時間】 ㋓ 支援内容 掃除　５１９時間１５分【５１８時間３０分】 食事の支度　１２５時間１０分【１６２時間１０分】 買物　２０３時間３０分【１８４時間３０分】 洗濯　８時間０５分【　５時間００分】 話し相手　５４時間００分【　４８時間２０分】 介助　８４時間００分【　４９時間００分】 その他　１６１時間００分【１５５時間３０分】 イ 募集状況 社協だより等で会員を募集し、利用会員は２人の新規登録があった。	今年度は、実態に合わせて登録会員名簿の整理を行った。 利用会員は、新規で２名の登録があるも、施設入所、産後の体調回復、他のサービスを利用、音信不通等により２５人を退会とした。 協力会員は、健康不安、家庭の事情等で１０名が退会した。新規について、問合せはあるも、条件が合わない等で登録には至らず。 実働可能な協力会員数が一定のため、利用ニーズに十分対応できていないのが現状である。引き続き、新規協力会員の登録を進めていきたい。

② 協力会員研修会等の開催

事業報告	評　　価
協力会員の資質やモチベーションの向上を目的に、研修会を開催した。 令和５年　３月　３日　防府市文化福祉会館 参加人員　　６名【７名】	今後も利用会員への対応スキルの向上のため、研修内容を工夫し、支援に役立つ研修会を開催したい

③ 広報啓発活動の実施

事業報告	評　　価
社協だよりやホームページ、市の広報物等に事業内容を掲載し、広く周知を図るとともに、ボランティア入門講座等でパンフレット配布や福祉関係者をはじめ関心を持つ方への説明等を行った。	市民に広く周知することにより、本人、家族、その関係者から年間約３０件を超える問合せがあり、その中から会員登録につながっている。

（３）福祉車両貸出事業

① 福祉車両（車いす同乗車）貸出事業の推進

事業報告	評　　価
車いす利用者等の人々が日常生活を営むうえで、生活圏域の拡大や自立と社会参加の促進を図るために必要な手段として、福祉車両の貸し出しを行った。 ア 貸出車両　マツダフレアワゴン、マツダＭＰＶ、トヨタラクティス イ 貸出件数　８件（走行実績３５５ｋｍ） 【５件（走行実績３８５ｋｍ）】	コロナ禍であったが、昨年以上の貸し出しがあった。

（４）生活福祉資金の受付

低所得者、障害者及び高齢者世帯に対し、山口県社会福祉協議会が行う生活福祉資金の受付を行った。

① 生活福祉資金の貸付

事業報告	評　　価
ア 生活福祉資金の貸付 ㋐ 相談件数　　３８７件【１，１２７件】	総合支援資金特例貸付の申込み期間が終了したこと

㋑ 貸付件数　　８９件（県社協貸付）【５１８件】 〔内訳〕 総合支援資金　　３４件【２９８件】 教育支援資金　　５件【　　３件】 福祉資金　　５０件【２１７件】 不動産担保型生活資金　　０件【　　０件】 イ 臨時特例つなぎ資金の貸付 ㋐ 相談件数　１件【　０件】 ㋑ 貸付件数　０件【　０件】	に伴い、総合支援資金の貸付件数が減少した。 自立相談支援センターと連携を図りながら貸付することにより、自立を促進できた。今後、償還に向けての支援も必要である。

② 研修会等への参加

事業報告	評　　価
令和５年　３月１０日　生活福祉資金担当者研修会 山口市　　参加人員　２名	コロナ禍で研修会等の多くは開催が見送られた。

２　権利擁護事業　　9,123,544 円

（１）地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

専門員、推進員、生活支援員等が協力し、日常生活上の判断が十分できない人や日常生活に不安のある人が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理等を支援した。

① 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の利用促進

事業報告	評　　価
ア 相談者及び利用者への支援 ㋐ 専門員、推進員、生活支援員の設置 専門員　　２名【　２名】 推進員　　２名【　２名】 実稼動生活支援員　　１４名【１４名】 ㋑ 活動状況 ・相談件数 問合せ　　１０７件【　７７件】 初回相談　　３２件【　２１件】 相談援助　　５，１７０件【４，６３９件】	利用者の意思の尊重と利益の保護のため、利用者と共に考え、各関係機関と連携し支援を行ったことにより、相談援助件数が増加した。自宅訪問などアウトリーチを積極的に行うことで個別支援（訪問、電話、手続き等）の充実を図ることができた。 今後の課題として、相談件

・書類等預かりサービス　　３３件【　３３件】 ・日常的金銭管理サービス　　５１件【　５０件】 ㋒運営適正化員会調査（山口県社会福祉協議会） 令和４年１０月２５日　防府市文化福祉会館 ㋓ 審査会（山口県社会福祉協議会） ・事務局審査会 令和４年　４月２０日　審査件数　１件 令和４年　７月　６日　審査件数　１件 令和４年１０月　５日　審査件数　２件 令和４年１１月　２日　審査件数　１件 令和４年１２月１４日　審査件数　１件 ・契約締結審査会 審査件数　０件 ・新規契約及び解約件数 新規契約　　３件【　８件】 解　　約　　２件【　５件】 ・事例検討　　１件	数の増加に伴い、個別支援の質の安定と生活支援員を含めた支援者の充実が必要である。 県社協審査会に書類を提出後、契約可能となりながら、契約につながらなかったケースが１件あった。 支援が困難である事例について事例検討を行い、専門的見地から助言を得た。
イ 地域住民及び関係機関等への周知 地域包括支援センター及び民生委員・児童委員にパンフレットを配布し説明を行った。	
ウ 必要に応じたケース会議等への参加 利用者を取り巻く状況や発生した課題に対して、利用者の意思を尊重した上で、関係者同士で支援の方向性を共有するためのケース会議に参加した。	ケース会議に参加することで利用者と各関係機関内での支援の方向性が明確となり、包括的な支援につながった。
エ 専門員、推進員及び生活支援員の資質向上 ㋐ 専門員会議 第１回　令和４年１０月２４日 第２回　令和５年　３月１４日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため Web で開催 ㋑ 専門員・推進員・生活支援員研修会等 令和４年　７月１３日 山口県地域福祉権利擁護事業新任担当者研修会 Web　　参加人員　２人 令和４年１０月　４日	県社協主催の研修会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Web 開催にて情報収集を行った。

専門員実践力強化研修会Ⅰ Web　　参加人員　１人 令和５年　２月１・３・８・９・１０日 「持続可能な権利擁護支援モデル事業」プレ研修 Web　　参加人員　３人 令和５年　３月２３日 後見人等への意思決定支援研修 Web　　参加人員　１人 令和５年　３月２４日 現任生活支援員研修会 防府市文化福祉会館　　参加人員　１０人 講義「知的障がい者の理解について」 講師　社会福祉法人 蓬莱会 クローバーセンター　河村 奈津子　氏 中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	現任生活支援員研修会については、障がいに関する知識や対人援助方法を学ぶことにより、日頃の支援を見直すきっかけとなった。講義後には生活支援員同士で情報交換を行った。

（２）法人成年後見受任事業

後見人が必要な状況にもかかわらず、親族による後見を受けられず、経済的な事情から他の後見人を得られない人のために財産管理や身上監護の後見業務を行った。

① 成年後見の受任

事業報告	評　価
ア 新規問合せ　　０件【　　１件】 イ 受任件数　　６件【　　６件】 新　規　　１件【　　１件】 終　了　　１件【　　１件】 ウ 後見業務支援件数　４１７回	新規に後見人として１件受任した。後見人等として財産管理や身上監護の後見業務を毎月行い、被後見人等の意向に添った支援ができた。 被後見人の死亡により１件終了した。

② 法人の成年後見受任の促進

事業報告	評　価
防府市地域包括支援センターと連携を深めた。 成年後見の申立ての相談を受けて法人後見人として受任できることを教示した。	市地域包括支援センターに市長申立ての後見人として受任できることを周知し

	た。

③ 関係機関との協力体制の構築

事業報告	評　　価
法人成年後見人として円滑な支援ができるよう関係機関との協力体制の構築に努めた。	関係機関と連携することにより、被後見人に寄り添った支援ができた。

④ 法人成年後見支援センター（山口県社会福祉協議会）との連携

事業報告	評　　価
令和４年１０月２４日　市町社協法人成年後見連絡会議 Web　　参加人員　１人	他市町社協との情報交換を行い、課題への対応方法等について共有することができた。

（３）防府市成年後見センターの運営（中核機関）

① 成年後見制度の広報・啓発

事業報告	評　　価
成年後見センターについてホームページ、社協だより及び市広報で広く周知するとともに、各地区民生委員児童委員協議会定例理事会（全１４地区）、包括センター長会議、サービス調整会議にて説明を行った。 また認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない人が地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進を図ることを目的として、市民向けのセミナーを開催した。 令和５年　１月２４日 防府市成年後見利用促進セミナー 防府市文化福祉会館　参加人員　３０人	成年後見を必要とする人が制度を適切に利用できるよう、成年後見制度について市民への周知が引き続き必要である。

② 成年後見に関する相談受付

事業報告	評　　価
市民や福祉関係者からの成年後見に関する相談を受けて支援調整を行った。また成年後見制度を利用するための手続きや申立に関する情	成年後見センターの周知を行ったことにより、昨年

報提供を行った。 　相談件数　　３５８件【２９３件】	度よりも相談件数が増加した。

③ 成年後見制度利用促進機能

事業報告	評　　価
ア　支援方針会議の開催 　中核機関へ直接相談に入ったケースや包括、行政に相談があったニーズの中から支援関係者、専門職などの参加により現状把握、ニーズや課題などアセスメントにより支援方針の検討を行った。 令和４年　５月　９日 　支援方針会議（第１回）　　検討案件　１件 令和４年　７月１１日 　支援方針会議（第２回）　　検討案件　１件 令和４年１１月１４日 　支援方針会議（第３回）　　検討案件　３件	市長申立案件や支援困難事例等について専門家の助言をふまえ検討することができ、支援の方向性が明確になった。
イ　研修会等への参加 令和４年　７月２２日　成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護支援に係る地域巡回自治体セミナー Web　　参加人員　２人 令和４年１１月２５日　山口市成年後見センター講演会 セントコア山口　参加人員　１人 令和５年　３月　２日　Kーねっと　全国セミナー Web　　参加人員　１人 令和５年　３月１７日　山口県成年後見制度利用促進協議会 Web　　参加人員　２人	成年後見制度利用促進について、今後の取り組みや課題について把握することができた。

３　生活困窮者自立支援事業　　10,081,193 円

（１）防府市自立相談支援センターの機能充実

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するために平成２７年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、市からの委託を受けて防府市自立相談支援センターを運営して事業を実施した。

① 自立相談支援センター及び制度の周知

事業報告	評　　価
広報紙「社協だより防府」や社協ホームページにて事業内容や住居	広報紙やホームページを

確保給付金など各種制度について掲載した。また、相談窓口などにチラシを設置し周知に努めた。	見て、相談に繋がるケースが多く見られ、広報の成果があったと思われる。引き続き周知に努めたい。

② 自立相談支援事業の実施

事業報告	評　　価
ア 相談件数　　８，０２８件【９，１５４件】 イ 相談者数　　２３０名【　　４４８名】 ウ 登録者数　　８７名【　　２４２名】 エ 支援決定数　　１１３名【　　３９４名】（プラン策定者） オ 就職者数　　２９名【　　３２名】	※国目安１０万都市の場合 相談者数　１６人/月 登録者数　　８人/月 ※防府市１０万人当たり 相談者数１６．８人/月 国目安は達成 登録者数６．４人/月 国目安は未達成 防府市の人口 11.34 万人 （令和 5 年 3 月末日）

③ 住居確保給付金の支給

事業報告	評　　価
ア 相談件数　　３０２件【６２９件】 イ 申請件数　　５６件【　５４件】 ウ 決定件数　　５５件【　５４件】	コロナ禍と比べ、相談件数は落ち着いてきているが、複合的な課題を抱えた相談が多く、決定件数は昨年と同様の件数になっている。家賃を給付することで、相談者が安心して就労や就職活動をすることに繋がった。

④ 生活困窮者自立支援給付金

事業報告	評　　価
ア 相談件数　　２５２件【１８０件】 イ 申請件数　　３１件【　３０件】	コロナ禍の緊急小口資金特例貸付等の貸付を受け終わった世帯を対象として、

ウ 決定件数　　３０件【　３０件】 エ 決定件数のうち再支給件数　２０件【　　８件】	就職活動期間中の生活費を給付した。

⑤ 一時生活支援事業の実施

事業報告	評　　価
ア 支援者数　　５名（４件）【２名（２件）】 イ 利用期間 １泊２日　　３名【０名】 ２泊３日　　０名【１名】 ３泊４日　　１名【０名】 ４泊５日　　０名【１名】 ５泊６日　　０名【０名】 ６泊７日　　０名【１名】 ７泊８日　　１名【０名】	住居喪失者にホテル等で宿泊、食事の支援を行いながら、就職やその他解決策につなげることができた。

⑥ 家計改善支援事業の実施

事業報告	評　　価
ア 支援者数　　０名【０名】 イ 弁護士相談実績　　１件【２件】	借金などの理由で、収支のバランスが崩れ、家計管理に問題が出るなど、生活に困窮してしまった相談者について、債務整理などの弁護士相談を受け支援の参考とした。

⑦ 就労訓練事業の推進

事業報告	評　　価
近郊の認定就労訓練事業所と連携し、就労のきっかけをつかめるよう支援することにより、直ちに一般就労が困難な人に対して、就労の機会を提供するように努めた。	認定就労訓練の登録事業所を増やしていく必要があるが、登録の難しさなどの理由で登録までつながらないケースが多い。行政との連携が必要である。

⑧ 住宅確保の推進

事業報告	評　　価
市内の不動産会社や生活困窮者支援を実施しているＮＰＯ法人と連携し、入居困難者の住居確保に取り組んだ。	関係機関や団体と連携することにより、入居困難者に住居を確保することができた。

⑨ 関係機関との連携

事業報告	評　　価
ア 自立相談支援事業支援調整会議の開催 毎月第４木曜日　　防府市文化福祉会館　　参加人員　１０名 イ 防府地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 令和４年　５月２７日　　ハローワーク　　参加人員　２名 ウ 防府市若者自立支援ネットワーク会議 令和５年　２月１５日　　防府市役所　　参加人員　１名	市、ハローワーク、県社協、市社協、自立相談支援センターが出席。自立相談支援センターの状況報告、相談者の推移、相談者の支援概況等を情報共有し協議することができた。

⑩ 相談体制の構築

事業報告	評　　価
令和４年　５月２２日 精神保健福祉関係者基礎研修 Web　　参加人員　１名 令和４年　６月　２日 都道府県研修に係る担当者研修（前期） Web　　参加人員　１名 令和４年　７月１１日 生活困窮者自立支援制度企画会議（第１回） 山口市　　参加人員　１名 令和４年　７月１９日 山口県居住支援協議会セミナー Web　　参加人員　２名	会議等に出席することにより、関係機関とのネットワークを構築することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議やオンデマンド研修も導入され、これまでにない形式で見識を深めることができた。

令和４年　８月　２日 　職業紹介責任者講習 Web　参加人員　１名 令和４年　９月１２日 　生活困窮者自立支援制度企画会議（第２回） 山口市　参加人員　１名 令和４年１０月１２日 　生活困窮者自立支援事業従事者養成研修　主任相談支援員 Web　参加人員　１名 令和４年１０月１４日 　フードバンク山口の活動強化勉強会 Web　参加人員　２名 令和４年１０月２１日 　生活困窮者自立支援事業従事者養成研修　相談支援員 Web　参加人員　１名 令和４年１１月１５日 　生活困窮者自立支援制度企画会議（第３回） 山口市　参加人員　１名 令和４年１２月　６日～７日 　生活困窮者自立支援事業従事者養成研修（都道府県研修） 山口市　参加人員　１名 令和４年１２月２２日 　リスタートケータイ説明会 Web　参加人員　２名 令和５年　１月１９日～２０日 　生活困窮者自立支援事業従事者養成研修（中四国ブロック研修） Web　参加人員　１名 令和５年　１月２３日 　都道府県研修に係る担当者研修（後期） Web　参加人員　１名 令和５年　３月１６日 　地域福祉推進セミナー（第２回） Web　参加人員　２名	

令和５年　３月２３日 シンポジウム（就労支援と地域づくり） Web　　参加人員　２名 令和５年　３月２８日 生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ研修会 Web　　参加人員　２名	

（２）生活困窮者に対する支援

防府市自立相談支援センターへの相談者に市からの委託以外の支援を実施した。

①　無料職業紹介事業の推進

事業報告	評　価
防府市自立相談支援センターとして職業紹介事業を行った。 業種別就職実績	コロナ禍においてイベント等も少ないこともあり、短期の求人はなかった。また、求人登録までに至らないケースが多くあった。

区分＼種別		軽作業雑役	製造	事務	宿直警備	その他	合計
求人数	男	３【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	３【０】
	女	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】
求職数	男	３【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	３【０】
	女	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】
紹介数	男	３【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	３【０】
	女	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】
就職者数	男	３【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	３【０】
	女	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】

② 食糧支援の体制づくり（フードバンク）

事業報告	評　価
食糧支援活動について、広報紙「社協だより防府」で広報して周知を図った。フードバンクポストは、スーパーの再開に伴い定期的な回収が再開した。備蓄で不足する分は、フードバンクほうふステーションやフードバンク山口と連携を図り補充をして、生活困窮者へ食糧を提供した。また、公益社団法人日本非常食推進機構のサイトを通じて各団体から提供される備蓄食料の提供を受けている。	市民の方からも多くの食品寄贈を受けた。 市民の関心度が高いことがうかがわれた。

4　高齢者能力開発情報センター事業　　200 円

高齢者の能力の開発や向上を図るため、各種相談に応じるとともにその能力に応じた就労斡旋の機会の確保及び高齢者の生きがい対策に資するために実施した。

（1）就労斡旋事業及び福祉情報等サービス事業の推進

事業報告	評　価
求人の開拓、事業の啓発及び高齢者に関する情報等を広報紙「社協だより防府」に掲載して啓発した。	求職の問合せはあるが求人の問合せはない。

（2）高齢者無料職業紹介所事業の推進

事業報告

６５歳以上の高齢者への求職申し込みに対して、就労の場を提供した。

① 高齢者求人求職相談の受付

ア 開設日数　２４３日【２４３日】

イ 相談件数　　４件【　　４件】

② 求職登録者の年齢及び男女別数

年齢別／区分	６５歳～６９歳	７０歳～７４歳	７５歳以上	計
男	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】
女	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】
合　計	０【０】	０【０】	０【０】	０【０】

③ 業種別就職実績

区分＼種別		軽作業雑役	家事手伝い留守番	事務	宿直警備	その他	合計
求人数	男	１２【　６】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	１２【　６】
	女	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】
求職数	男	１２【　６】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	１２【　６】
	女	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】
紹介数	男	１２【　６】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	１２【　６】
	女	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】
就職者数	男	１２【　６】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	１２【　６】
	女	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】	０【　０】

評　価

例年は短期の求人はあるが、コロナ禍においてイベント等が中止となり、求人がなかった。

常勤の求人がないことから求職者数も少なかった。

５　資金貸付事業　366,780 円

資金の貸し付けを通して経済的な自立を図ることによって、住民の地域での安定した生活ができるよう支援した。

（１）小口福祉資金の貸付

事業報告	評　　価
低所得世帯が様々な事情により不時の出費が必要となった場合に貸付を行った。 ① 相談件数　９２件【８０件】 ② 貸　　付 件　数　１８件【１６件】 金　額　３６５，０００円【３８０，０００円】 ③ 償　　還 件　数　４４件【５９件】 金　額　４１２，７００円【４７７，２００円】	貸付により、一時的な出費に対応でき、民生委員につなげることにより見守り体制ができた。

（２）介護サービス費（住宅改修・福祉用具購入）立替金の貸付

事業報告	評　　価
貸付はなかった。	受領委任払いが利用できるようになったことから、全額支払わなくてもよくなり、貸付する必要がなくなったため、今年度で事業を終了する。

（３）生活安定対策資金の貸付

事業報告	評　　価
貸付はなかった。	

【共同募金事業】　15,808,994 円

１　一般共同募金配分金事業

山口県共同募金会からの配分金により、高齢者、障害者・児、児童・青少年福祉及び福祉育成・援助活動等に対し、次の事業を実施した。

（１）老人福祉活動事業の推進

事業報告	評　　価
① 敬老会等助成事業 ア 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成 全地区において、新型コロナウイルス感染症の影響で地区全体が集まる形の敬老会（式典等）を中止して単位自治会での実施となった。各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、商品券、記念品を対象者宅に届けるため助成した。 イ 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内の高齢者施設で実施される敬老会等行事に対して地区社会福祉協議会を通じて助成した。 ② 防府市老人クラブ連合会の支援 防府市老人クラブ連合会に活動費を助成し活動を支援した。 ③老人週間の啓発 社協だよりに掲載した。	敬老会行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。７５歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老会等の運営について支援した

（２）障害者・児福祉活動事業の推進

事業報告	評　　価
① 新規障害者手帳取得者及び新規療育手帳Ａ取得者の支援 ６５歳未満の身体障害者手帳１級取得者及び療育手帳Ａ取得者の新規取得時に支援金を支給し支援した。 対象者数　３０名【３０名】 ② 障害者福祉団体等の支援 市障害福祉団体連合会、自閉症児（者）親の会に活動費を助成して活動を支援した。 ③ 障害者スポーツ振興事業の支援 第２３回防府車椅子・ＦＩＤバスケットボール大会（令和４年１１月２０日）の開催にあたり助成して大会を支援した。 ④ 障害児童・生徒への卒業記念品贈呈 令和５年　２月２０日 卒業記念品贈呈式　市役所１号館３階 小学校卒業生（目覚時計）　３６名【４５名】	障害がある児童・生徒の卒業を祝い、卒業記念品を贈呈して門出を祝福した。

中学校卒業生（腕時計）　　３３名【３３名】	

（３）児童・青少年福祉活動事業の推進

事業報告	評　　価
① 新生児の支援 赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後３か月児の家庭訪問に際して、絵本を１冊ずつ贈呈した。 人　数　　７６４名【８０５名】	子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながっている。子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のための関係機関との連携につながっている。
② 児童及び青少年福祉団体の支援 防府市子ども会育成連絡協議会、防府市幼稚園連盟、防府市保育協会、防府市自閉症・者親の会、防府市里親会、社会を明るくする運動、防府スカウト協議会に活動費を助成して活動を支援した。	
③ 海水浴場へ救急薬品贈呈 令和４年　７月　９日　１か所（富海海水浴場）	
④ 小学校新入学児童のお祝品贈呈 小学校の令和４年度に入学する新入学児童全員に対し、連絡帳入りクリアケースを贈呈した。 贈呈数　１，０７０セット【１，１１０セット】	連絡帳等を活用して児童、学校及び家庭とのつながりを強化できた。小学校から感謝の声があった。
⑤ 児童福祉週間の啓発 社協だよりに掲載した。	

（４）福祉育成・援助活動事業の推進

事業報告	評　　価
① 地区社会福祉協議会等地域福祉活動の支援 ア 地区社会福祉協議会だより発行助成 牟礼地区社会福祉協議会　６，１５０部【５，６８２部】 勝間地区社会福祉協議会　２，６００部【２，６００部】 華浦地区社会福祉協議会　４，０００部【４，０００部】 野島地区社会福祉協議会　　１００部【　　１００部】	広報紙の発行により、住民に地域に密着した福祉情報等が提供された。

新田地区社会福祉協議会　３，４５０部【３，４５０部】 中関地区社会福祉協議会　５，１００部【５，１６０部】 華城地区社会福祉協議会　６，３００部【６，３００部】 西浦地区社会福祉協議会　１，３５０部【１，３５０部】 右田地区社会福祉協議会　５，１００部【５，１００部】 富海地区社会福祉協議会　１，２００部【１，２００部】 小野地区社会福祉協議会　１，２１０部【１，３１０部】 大道地区社会福祉協議会　１，９００部【１，９００部】	
イ　地区社会福祉協議会へ防災研修費助成 令和４年１２月１９日　牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館　参加人員５０名【４０名】 公民館の大掃除をして、非常ベルを鳴らし避難訓練、消火器訓練 令和５年　３月　３日　松崎地区社会福祉協議会 参加人員　６８７名【６８０名】 「災害から自らと家族の命を守るために」をテーマに災害関連の資料を配布し、防災意識の啓発を図った。 令和５年　３月　６日　勝間地区社会福祉協議会 勝間公民館　参加人員　３０名【３０名】 勝間地区における自然災害への対応について 講師　防府市防災危機管理課 令和４年１１月２７日　華浦地区社会福祉協議会 華浦小学校　参加人員　５５名【２５名】 華浦地域避難所開設訓練 令和４年　６月　４日　中関地区社会福祉協議会 中関地域　２２名（自治会長）【―】 防災訓練 令和５年３月２１日　華城地区社会福祉協議会 桑山中学校　参加人員　３０名【４名】 山口大学教授による防災に関する講話、防府市防災危機管理課による事例発表 令和４年１１月２２日　西浦地区社会福祉協議会 華西中学校　参加人員　１４０名【―】 中学校全校生徒に防災に関する講演を実施 令和５年　２月１４日　西浦地区社会福祉協議会 西浦公民館　参加人員　３１人【―】 西浦小学校４年生に防災に関する講演と防災倉庫の備蓄品に見学会 令和４年　６月２５日　小野地区社会福祉協議会 小野地域全体　参加人員　７０名【２０名】	平常時からの防災意識を高めるため、地区社協単位で研修会等が開催された。

緊急連絡網の伝達訓練、土のうづくり、毛布を使った担架づくりなど 令和４年　６月　４日　大道地区社会福祉協議会 大道地区全域　　参加人員　１，０００名【５０名】 防災訓練（伝達訓練、炊き出し訓練など） ② 被災世帯の支援 火事見舞い　２件（全焼１件、半焼１件） 【３件（全焼２件、半焼１件）】 ③　生活困窮者支援事業 緊急に必要な資金を支給　４件　（２９，７２０円） 【３件　（１３，２８４円)】 ④　団体活動の支援 ア 防府市幼稚園連盟へ福祉教育推進のための助成 イ 防府市保育協会へ福祉教育のための助成 ウ 地域自治会連合会へ自治会福祉部活動推進のための助成 エ 地区民生委員児童委員協議会研修のための助成 令和４年　４月　１４日 大道地区民生委員児童委員協議会 コロニー協会　　参加人員　　１５名【１５名】 令和４年５月１２日、７月１４日、１２月８日、２月９日 中関地区民生委員児童委員協議会 中関公民館　　参加人員　　２２名【２２名】 令和４年　８月１１日 佐波地区民生委員児童委員協議会 三笠館　　参加人員　　１４名【１８名】 令和４年　８月　９日 向島地区民生委員児童委員協議会 向島公民館　　参加人員　　７名【　７名】 令和４年　９月１３日 牟礼地区民生委員児童委員協議会 牟礼公民館　　参加人員　　２７名【　―　】 令和４年１０月１５日 華浦地区民生委員児童委員協議会 華浦公民館　　参加人員　　５４名【　―　】 令和４年１０月１４日、１５日 華城地区民生委員児童委員協議会 萩市　　参加人員　　１２名【１４名】 令和４年１０月２２日	早急にライフラインの復旧が必要な生活困窮者への対応ができ、就労に向けての一時的な支援につながった。 地区民児協の研修を支援し、民生・児童委員の資質向上を図った。研修内容について地区民児協の相談に応じた。

小野地区民生委員児童委員協議会 小野公民館　参加人員　３８名【４５名】 令和４年１０月２９日 松崎地区民生委員児童委員協議会 熊本県　参加人員　１０名【１３名】 令和４年１２月１５日 右田地区民生委員児童委員協議会 定例会後研修　参加人員　２５名【２５名】 令和５年　１月　８日 新田地区民生委員児童委員協議会 新田公民館　参加人員　１６名【１５名】 ⑤ 市社協だより・ホームページ ・市社協ホームページのリニューアルを行い、各事業についいてわかりやすく周知を行った。	
⑥ 市民手話講習会の開催 手話の入門編として、市民手話講習会を開催した。 ・昼の部 令和５年　２月　１日～　３月　８日（６回） 防府市文化福祉会館 参加延人員　４５名【　－　】 ・夜の部 令和５年　２月　１日～　３月　８日（６回） 防府市文化福祉会館 参加延人員　６１名【　－　】	受講者が聴覚障がい者とのふれあいの中から手話を学び、聴覚障がいについての理解やボランティアの意義について共に考える場づくりを今後も支援する。
⑦ 防府市障害者福祉啓発セミナーの開催 令和４年１２月　５日　防府市文化福祉会館３階４号 参加人員　４１名【５６名】 〔内容〕 演題「地域で一緒に暮らすために」 ～施設から地域へ、家庭から地域へ～ 講師　錦谷　浩文　氏	共生社会の実現を目指し、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域社会で安心して生活できる支援等について理解を深めた。

（５）ボランティア活動育成事業の推進

事業報告	評　価
① ボランティア団体の活動助成 防府ボランティア連絡会に活動費を助成した。	新型コロナウイルス感染症の関係で、従来通りの行事の開催はできなかったが、個別の団体の活動支援

② ボランティア体験月間の啓発活動 ア　夏休み親子福祉体験教室～バリアフリー教室車いすで施設を回ってみよう！ 参加人員　　２２名【２７名】 市内小学生４～６年を対象とした福祉体験教室の開催。 防府市社会福祉協議会職員、道の駅潮彩市場防府駅長による講義。 イ ワークキャンプ（施設体験学習）の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	をすることができた。 車いすでメバル公園や道の駅潮彩市場を散策し、障がい者や高齢者の体験により、福祉に対する理解を深めてもらうことができた。

（６）共同募金を財源とした福祉団体助成の見直しについて

事業報告	評　　価
赤い羽根共同募金を福祉団体助成金の見直しに関する説明会を開催した。 令和４年１１月　２日　　防府市文化福祉会館 「赤い羽根共同募金の目的と方向性について」 社会福祉法人山口県共同募金会 「地域福祉活動助成事業要綱の説明及び今後の方針について」 参加者　１３名	共同募金を財源とした助成を受けている団体に対し、要綱及び本会の方針について理解してもらうことができた。

２　歳末たすけあい配分金事業

「みんなでささえあうあたたかい地域づくり」をスローガンに、１２月１日から３１日までの１か月間実施される歳末たすけあい運動における募金を山口県共同募金会から配分金を受けて、次の事業を実施した。

（１）生活困難世帯の支援

事業報告	評　　価
生活困難世帯（生活保護世帯を除く）に対して、義援金を配付した。 在宅の生活困難世帯　９９世帯【１１２世帯】	民生・児童委員の協力を得て調査や配付を行うことができ、見守り活動や実態把握の一助となった。

（２）児童養護施設の支援

事業報告	評　　価
児童福祉施設入所児と退所する児童に対して、義援金を配付した。 ①市内社会福祉施設入所児童　５７名【５２名】 ②児童養護施設退所児への支援　５名【　５名】	児童養護施設入所児、退所児へ義援金を贈ることで地域の支え合いの気持ちが届けられた。

（３）ふれあい・いきいきサロン活動の支援

事業報告	評　　価
年末年始にクリスマス会、忘年会及び新年会を兼ねて開催されるふれあい・いきいきサロンに対し、義援金（市内共通商品券）を配付した。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、申請数が例年の半分程度であった。 ふれあい・いきいきサロン活動への支援　７１か所【６０か所】	サロン活動の活性化と運営の安定化を図る必要がある。 申請対象とする開催内容については、今後検討したい。

（４）地域福祉活動の支援

事業報告	評　　価
歳末の時期に在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、地区の特性を生かした事業を展開してもらえるよう地区社会福祉協議会の事業活動に配分した。各地区の民生委員・福祉委員・友愛訪問員より対象者へ福祉弁当やカイロ、カレンダー、みかんなどを配った。 ① 地域福祉活動への支援　１４地区社会福祉協議会 【１５地区社会福祉協議会】 ② 対象者　７，９１２名【７，１７３名】	地区社協が実施する歳末たすけあい運動を支援し、地域の見守りや支え合いの活動を促進した。

【団体事務受託業務】

１　防府市民生委員・児童委員協議会事務局の業務

事業報告	評　　価
（１）防府市民生委員・児童委員協議会の活動支援	事務局として定例理事会

防府市民生委員・児童委員協議会の事務局を受託し、活動を支援した。 ① 定例理事会の開催 偶数月の第１水曜日 ② 部会等の開催 部会（高齢者、障害者、児童福祉部会）とも集合研修はコロナ禍のため、中止となった。部会ごとに部会に関する資料等を部会員に配布する支援をした。 令和５年　１月２５日 一斉改選後、３部会の代表者会議の開催	の運営や各部会活動を支援し、市民児協全体の活動を促進した。 市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。
（２）防府市民生委員・児童委員新任研修会の開催 令和５年　１月２５日 防府市　　参加人員１００名	一斉改選後に、新任民生委員・児童委員が今後の民生委員活動に備えることができるよう、研修会を行った。
（３）研修会等へ職員引率 令和４年　７月１９日　　現任民生委員・児童委員研修会 山口市　　参加人員　２名 令和４年　９月２８日 市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会 山口市　　参加人員　２名 令和４年１０月１９日　中堅民生委員・児童委員研修会 山口市　　（準備・手配のみ） 令和４年１２月２３日　新任民生委員・児童委員研修会 山口市　　参加人員　２名 令和５年　１月１８日 令和４年度　全国民生委員・児童委員リーダー研修会（DVD） 防府市　　参加人員　１名 令和５年　２月　６日 民生委員・児童委員活動実践講座 山口市　　参加人数　２名 令和５年　２月２１日 令和４年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会（DVD） 防府市　　参加人数　１名 令和５年　３月２２日 令和４年　児童委員・主任児童委員オンライン研修会 防府市　　参加人数　２名	市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。 オンライン研修会の DVD を借り、視聴会を開催することで各部会委員が担当する内容に合った研修に参加することができた。

２　山口県共同募金会防府市共同募金委員会事務局の業務

事業報告	評　　価
（１）防府市共同募金委員会の開催 ①運営委員会 令和４年　４月２８日 ・審査委員会の報告について ・運営委員の選任について ・審査委員の選任について ・令和３年度収支決算について ・監査報告 ・地区共同募金委員会設置要綱の改正について ・令和４年度事務費収支予算(案)について 令和４年　９月２９日 ・令和３年度共同募金による令和４年度配分の結果について ・運営委員及び審査委員の選任について ・令和４年度共同募金運動及び歳末たすけあい運動の実施について ・地域福祉助成事業実施要綱の改正について ②審査委員会 令和４年　７月　５日 ・令和５年度共同募金地域福祉活動助成（Ｂ配分）審査について ・令和５年度地域歳末たすけあい募金助成（Ｃ配分）審査について 令和５年　２月１７日 ・令和４年度赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について ・令和５年度共同募金地域福祉活動助成最終審査について （２）監査会の開催 令和４年　４月１４日 ・令和３年度事業及び会計監査 （３）共同募金活動の推進 ① 各種募金活動の推進 ② 各地区共同募金委員会活動の支援 ③ 募金の集計及び管理	地域の支援者と協力しながら募金活動を推進した。 審査委員会による助成審査を行い、透明性の確保に努めた。

（４）災害見舞金（義援金）の受付 ・平成３０年７月豪雨災害義援金 ・令和４年３月福島県沖地震災害義援金 ・宮城県令和４年７月１５日からの大雨に係る災害義援金 ・令和４年８月大雨福井県災害義援金 ・令和４年８月山形県大雨災害義援金 ・令和４年８月大雨災害青森県義援金 ・令和４年台風第１５号災害静岡県義援金 ・石川県８月大雨災害義援金 ・令和４年８月新潟県大雨災害義援金	

３　幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会事務局の業務

事業報告	評　　価
（１）役員会及び全体会を開催した。 令和４年　５月２３日　（第１回）会計報告及び予算計画 令和４年　７月２５日　（第２回）各種寄付の紹介 令和４年　９月２６日　（第３回）補助金等の使途 令和５年　２月２２日　（第４回）令和４年の振返り	各種寄付や関連情報を取りまとめる窓口として、各団体に公平かつ透明性をもって発信した。
（２）子ども食堂からの相談やボランティア保険加入、ボランティアの派遣調整をして支援した。 （３）市補助金及び市共同募金委員会地域福祉活動助成に係る各種手続きを実施した。 申請書、請求書及び事業完了報告書を作成し、提出した。 （４）サポーター会員等からの寄付（米、野菜等）を配布した。 協議会として預かった各種寄付を協議会のグループ LINE を活用して公平かつ透明性をもって配布した。 （５）宅建協会寄付の米の払出要領を策定した。 宅建協会防府支部から協議会に対して米１トンを寄付していただいたが、市内の米屋と連携して各々のこども食堂開催時に米を払出す要領を策定した。 （６）市内のこども食堂の現状について説明した。 要望される個人、学校等に対して、令和３年度の市内におけるこども食堂やサポーター会員の現状について説明を行った。 延べ１７回	幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会の事務局として防府市社会福祉協議会が機能することで、サポーター等と各食堂を丁寧かつスピーディに連携させることができた。

４　防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会事務局の業務

事業報告	評　　価
社会福祉法人は、これまで高齢・障害・児童等の要援護者に対して、様々な福祉サービスを提供してきたが、社会福祉法人の、その使命と役割を更に発揮し、連携・協働して、地域の課題に対応するため、防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会で協議を行った。 令和４年　７月　１日 ・参加法人に関するアンケート結果報告について ・協議会における今後の取組について ・情報交換 令和４年　９月～１１月 ・参加法人への意向状況の聞き取り 令和５年　３月１０日 ・令和５年度協議会活動（案）について ・情報交換	今年度は、協議会を２回実施したが、具体的な取組までの議論までいかなかった。 来年度については、実効性のある取組を行いたい。